

令和7年度

「運営に関する計画」

(様式1)

総括シート

大阪市立柴島中学校

令和7年4月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- (1) 校内調査の結果、「先生はイジメなど私たちが困っていることについてよく対応してくれる。」の肯定的回答は、過去3年間の平均が89.7%（前年度89.7%）である。また、「命の大切さについて学ぶ機会が多い。」の肯定的回答は、過去3年間の平均93.3%（前年度94.0%）である。
- (2) 校内調査において、「授業はわかりやすく楽しい」が同様に、88.1%（前年度91.4%）である。主体的・対話的で深い学びにつながる「授業で自分の考えをまとめたり、発表することがよくある。」の回答は、過去3年間の平均73.1%（前年度79.3%）である。
- (3) 校内調査において、「1日4時間以上、スマートフォンやタブレット、ゲーム機等で動画を見ている」の回答は、過去3年間の平均は53.1%（前年度54.3%）、「1日4時間以上、スマートフォンやタブレット、ゲーム機等で通話、メール（SNSを含む）、インターネットをしている」の回答は、過去3年間の平均は52.6%（前年度56.9%）である。
- (4) 校内調査において、「読書は好きである」という質問の回答は、過去3年間の平均は69.7%で前年度は74.1%である。また、「自分で計画を立てて学習に取り組んでいる」という質問の回答は、過去3年間の平均は71.4%で、前年度76.7%である。
- (5) 全国学力・学習状況調査において昨年度は全国平均に達したが、近年の結果は、全国平均を下回っていた。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- (1) 令和7年度末の校内調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を75%以上にする。
- (2) 校内調査において、不登校生徒の在籍比率を、毎年、前年度より減少させる。
- (3) 校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を、毎年、増加させる。
- (4) 令和7年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を98%以上にする。
- (5) 令和7年度末の校内調査における「生徒会・各委員会・係活動に関心を持ち積極的に参加している」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を87%以上にする。
- (6) 令和7年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度と同数以下にする。
- (7) 令和7年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の人数を1名以下にする。
- (8) 令和7年度末の校内調査における「先生はイジメなど私たちが困っていることについてよく対応してくれる」の肯定的回答を92%以上にする。また「命の大切さについて学ぶ機会が多い」も同様に93%以上にする。
- (9) 令和7年度末の校内調査における「1日4時間以上、携帯電話やスマートフォン、タブレットで通話やメール(SNSを含む)、インターネットをしている（ゲームをする時間は除く）」という質問において、肯定的回答の割合について、50%以下にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- (1) 令和7年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を40%以上にする。
- (2) 令和7年度中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も、毎年、前年度より向上させる。
- (3) 令和7年度の大阪市英語力調査におけるCEFR A1 レベル（英検3級）相当以上の英語力を有する中学3年生の割合（4技能）を53%以上にする。
- (4) 令和7年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を30%以上にする。

- (5) 令和7年度の中学生チャレンジテストにおける対府比を、同一母集団で比較し、いずれの学年も、毎年、前年度より向上させる。
- (6) 令和7年度の中学校チャレンジテストにおける得点が府平均の7割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も、毎年、前年度より減少させる。
- (7) 令和7年度の中学校チャレンジテストにおける得点が府平均を2割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も、毎年、前年度より増加させる。
- (8) 令和7年度の校内調査における「悩みなどの相談にのってくれる仲間がいる。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を91%以上にする。
- (9) 令和7年度の『新体力テスト』における総合評価(A～D)で、C以上の割合を男女とも73%以上にする。
- (10) 令和7年度の校内調査で「読書は好きである」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を70%以上に、「計画を立てた学習をしている」については73%以上にする。
- (11) 生徒の授業内容をわかろうとする態度をみていく。令和7年度の学校アンケートの「授業のわからないことについて、先生に質問しやすい」について肯定的に回答する生徒の割合を87%以上にする。
- (12) 令和7年度の校内調査で「授業で自分の考えをまとめたり、発表することがよくある」という質問の肯定的回答する生徒の割合を73%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- (1) 令和7年度の授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする
- (2) 令和7年度の教職員の時間外勤務時間を、全市の校種別の平均時間以下にする。

【その他 柴島中学校教育目標】

「創意と工夫にあふれる教育の推進 ～主体的に学び続ける生徒の育成～」を本校の教育目標として掲げ

- (1) 「自他への思いやりのある生徒」(2) 「意欲的に学習に取り組む生徒」(3) 「心と体の成長を図る生徒」を育てたい生徒像とする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

「大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標」

- (1) 年度末の校内調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する生徒の割合を75%以上にする。(前年度73.3)
- (2) 年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。(R6 9.1%)
- (3) 年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。(R6 62.5%)
- (4) 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を98%以上にする。
- (5) 年度末の校内調査における「生徒会・各委員会・係活動に関心を持ち積極的に参加している」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を昨年度以上(R3 70.3% R4 74.0 R5 85.0% R6 81.9)にする。
- (6) 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度(0)と同数以下にする。
- (7) 年度末の校内調査において、不登校生徒の総数を前年度(12人)より減少させる。
- (8) 年度末の校内調査の「先生はイジメなど私たちが困っていることについてよく対応してくれる。」の肯定的な回答を前年度以上(前年度89.7%)にする。また「命の大切さについて学ぶ機会が多い。」も同様に前年度以上(前年度94.0%)をめざす。
- (9) 年度末の校内調査の「1日4時間以上、携帯電話やスマートフォン、タブレットで通話やメール(SNSを含む)、インターネットをしている(ゲームをする時間は除く。)」という質問において、肯定的回答の割合について、50%以下にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

「大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標」

- (1) 年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する生徒の割合を 40%以上にする。(R6 39.7)
- (2) 中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。
- (3) 大阪市英語力調査における CEFR A1 レベル相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合（4 技能）を 53%以上にする。
- (4) 中学生チャレンジテストにおける対府比を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- (5) 中学生チャレンジテストにおける得点が府平均の 7 割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より減少させる。
- (6) 中学生チャレンジテストにおける得点が府平均を 2 割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より増加させる。
- (7) 年度末の校内調査における「悩みなどの相談にのってくれる仲間がいる。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度（90.5%）より増加させる。
- (8) 年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を 30%以上にする。
- (9) 『新・体力テスト』における総合評価(A～D)で、C以上の割合を男女とも 70.0%以上にする。
- (10) 年度末の校内調査における「自分で計画を立てて、学習に取り組んでいる」について前年度（76.7%）より増加させる。
- (11) 生徒の授業内容をわかろうとする態度をみていく。年度末の校内調査「授業のわからないことについて、先生に質問しやすい」について肯定的に回答する生徒の割合を前年度（83.6%）より増加させる。
- (12) 年度末の校内調査の「授業で自分の考えをまとめたり、発表することがよくある」という質問の肯定的回答を 73%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

「大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標」

- (1) 授業日において、生徒の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上にする
- (2) 第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 1 を満たす教職員の割合を 35%以上にする。(R6 35%)
- (3) 校内調査において、「日々の学校の活動の中で、学習者用端末を活用している」と回答する生徒の割合を 80%以上にする。

【その他 柴島中学校教育目標について】

- (1) 「自他への思いやりのある生徒」
校内調査「学校に行くのが楽しい」の項目の肯定的回答を 80%以上にする。(R5 73.3%、R6 86.2%)
- (2) 「意欲的に学習に取り組む生徒」
校内調査「授業はわかりやすく楽しい」の項目の肯定的回答を 88%以上にする。(R5 86.7%、R6 91.4%)
- (3) 「心と体の成長を図る生徒」
校内調査「自分にはよいところがあると思いますか」の項目の肯定的回答を 75%以上にする。(R5 77.5%、R6 73.3%)

3 本年度の自己評価結果の総括

令和7年度

「運営に関する計画」

(様式2)

目標別シート

大阪市立柴島中学校

令和7年4月

大阪市立柴島中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (様式2 目標別シート)								
評価基準 A：目標を上回って進捗している B：目標どおりに進捗している C：取り組んだが目標通りに進捗できなかった D：ほとんど取り組めなかった								
年度目標								
【3つの最重要目標】 目標1 安全・安心な教育の推進								
【大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標】								
			2 学期			3 学期		
担当	項目		達成 状況 A～D	年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	今後への改善点	達成 状況 A～D	年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	次年度への改善点
集育	1	年度末の校内調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を75%以上にする。(前年度73.3%)						
集育	2	年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。(R6 9.1%)						
集育	3	年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。(R6 62.5%)						
集育	4	年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を98%以上にする。						
集育	5	年度末の校内調査における「生徒会・各委員会・係活動に関心を持ち積極的に参加している」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を昨年度以上にする。(R4 74.0% R5 85.0% R6 81.9%) にする。						
集育	6	年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度（0名）と同数以下にする。						
集育	7	年度末の校内調査において、不登校生徒の総数を前年度（12人）より減少させる。						
集育	8	年度末の校内調査の「先生はイジメなど私たちが困っていることについてよく対応してくれる。」の肯定的回答を前年度以上にする。（前年度89.7%）。また「命の大切さについて学ぶ機会が多い。」も同様に前年度以上（前年度94.0%）をめざす。						
集育	9	年度末の校内調査の「1日4時間以上、携帯電話やスマートフォン、タブレットで通話やメール(SNSを含む)、インターネットをしている（ゲームをする時間は除く）。」という質問において、肯定的回答の割合について、50%以下をめざす。						

大阪市立柴島中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (様式2 目標別シート)							
評価基準 A: 目標を上回って進捗している B: 目標どおりに進捗している C: 取り組んだが目標通りに進捗できなかった D: ほとんど取り組みなかった							
年度目標							
【3つの最重要目標】 目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上							
【大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標】							
担当	項目	2 学期			3 学期		
		達成状況 A～D	年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	今後への改善点	達成状況 A～D	年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	次年度への改善点
教務	1 年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 83.7%以上にする。						
教務	2 中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的 に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。						
英語	3 CEFR A1レベル（英検3級）相当以上の英語力を有する中学3年生の割合（4技能）を53%以上に向上させる。						
教務	4 中学生チャレンジテストにおける対府比を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。 (R5 1年【78期】3科 112.4) (R6 1年【79期】3科 108.4) 2年【78期】5科 116.3)						
教務	5 中学校チャレンジテストにおける得点が府平均の7割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より減少させる。 (R5 1年【78期】3科 13.7) (R6 1年【79期】3科 12.1) 2年【78期】5科 10.8)						
教務	6 中学校チャレンジテストにおける得点が府平均を2割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より増加させる。 (R5 1年【78期】3科 46.7) (R6 1年【79期】3科 38.1) 2年【78期】5科 51.4)						
集育	7 年度末の校内調査における「悩みなどの相談にのってくれる仲間がいる。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度（90.5%）より増加させる。						
保体	8 年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に 対して、最も肯定的な回答をする生徒の割合を30%以上にする。						
保体	9 『新体力テスト』における総合評価(A～D)で、C以上の割合を男女とも70.0%以上にする。						
教務	10 年度末の校内調査における「自分で計画を立てて、学習に取り組んでいる」について前年度（76.7%）より増加させる。						
教務	11 生徒の授業内容をわかろうとする態度をみていく。年度末の校内調査「授業のわからないことについて、先生に質問しやすい」について肯定的に回答する生徒の割合を前年度（83.6%）より増加させる。						

教務	12	年度末の校内調査の「授業で自分の考えをまとめたり、発表することがよくある」という質問の肯定的回答を肯定的回答を73%以上にする。						
----	----	--	--	--	--	--	--	--

大阪市立柴島中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (様式2 目標別シート)							
評価基準 A：目標を上回って進捗している B：目標どおりに進捗している C：取り組んだが目標通りに進捗できなかった D：ほとんど取り組みなかった							
年度目標							
【3つの最重要目標】 目標3 学びを支える教育環境の充実							
【大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標】							
		2 学期			3 学期		
担当	項目	達成状況 A～D	年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	今後への改善点	達成状況 A～D	年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	次年度への改善点
C I O	1 授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。						
管理職	2 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を40%以上にする。(R6 35.0%)						
C I O	3 アンケート「日々の活動の中で学習端末を活用している。」において、肯定的回答の割合を85%以上にする。						

大阪市立柴島中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (様式2 目標別シート)							
評価基準 A：目標を上回って進捗している B：目標どおりに進捗している C：取り組んだが目標通りに進捗できなかった D：ほとんど取り組みなかった							
年度目標							
【その他】 柴島中学校教育目標について							
		2 学期			3 学期		
担当	項目	達成状況 A～D	年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	今後への改善点	達成状況 A～D	年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	次年度への改善点
教務	1 「自他への思いやりのある生徒」校内調査「悩みなどの相談にのってくれる仲間がいる」の項目の肯定的回答を前年度(90.5%)より向上させる。						
教務	2 「意欲的に学習に取り組む生徒」校内調査「授業はわかりやすく楽しい」の項目の肯定的回答を前年度(91.4%)より向上させる。						
教務	3 「心と体の成長を図る生徒」校内調査「自分にはよいところがあると思いますか」の項目の肯定的回答を前年度(73.3%)より向上させる。						

大阪市立柴島中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (様式2 目標別シート)

評価基準 A：目標を上回って進捗している B：目標どおりに進捗している C：取り組んだが目標通りに進捗できなかった D：ほとんど取り組みなかった

9教科の目標と総括

		2 学期			3 学期		
担当	項目	達成 状況 A～D	年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	今後への改善点	達成 状況 A～D	年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	次年度への改善点
国語	1 漢字や語句の反復練習を通して、「知識・技能」の基礎・基本を身につけさせる。言語活動の充実により伝え合う力を高め、思考力や表現力、想像（創造）力を養う。						
数学	2 少人数分割授業を展開し、基礎・基本の定着をめざす。また、言語活動を活発化することにより数学的に考察する力を高める。						
英語	3 少人数、習熟度別分割授業を展開し、基礎・基本の定着を図る。ICT等を活用し生徒の興味関心をひき、主体的に英語を使う態度を育むよう工夫する。						
理科	4 授業を通じて、特に実験・実習時間の中で、主体的な学びを目指す。また、自然とのかかわりを持つことができる授業をめざす。						
社会	5 正しい情報を読み解く力をラジオ放送やニュース映像、動画教材を積極的多角的に取り入れ、視覚効果を高めた授業を展開する。また自学自習のツールとしてICT課題を定着させ評価に取り入れる。従来の授業形態から、班活動を中心に協働学習を展開する。						
音楽	6 幅広く音楽に触れる中から、個性や想像力、自分を表現する力をはぐくめるようにすることをめざす。						
美術	7 創造することに対する喜びと、作品が完成した時に達成感を味わうことのできる授業をめざす。また後片付けのできる生徒の育成もめざす。						
技術	8 実践的・体験的な活動を通して基本的な知識と技術を習得し、生活をよりよくしようという能力と態度を育てる。						
家庭科	9 実践的・体験的な活動を通して基本的な知識と技術を習得し、生活をよりよくしようという能力と態度を育てる。						
保健体育	10 運動の大切さを理解し、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てる。						

大阪市立柴島中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (様式2 目標別シート)									
評価基準 A：目標を上回って進捗している B：目標どおりに進捗している C：取り組んだが目標通りに進捗できなかった D：ほとんど取り組めなかった									
3つの「最重要目標」と目標達成に向けた施策									
目標1 安全・安心な教育の推進									
【施策① 安全・安心な教育環境の実現】									
			2 学期				3 学期		
担当	取組内容		指標	達成状況 A～D	年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	今後への改善点	達成状況 A～D	年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	次年度への改善点
集育	1	いじめ・問題行動に対応する制度の活用 ・「学校安心ルール」の成案の実施・地域活動協議会など関係諸機関と協力し、児童生徒が落ち着いて学習に取り組むことができる環境の整備	・学校安心ルールの配布と指導を年間1回以上行う。 ・地域活動協議会との打ち合わせを月1回以上行う。						
集育	2	不登校や児童虐待などの課題への対応 ・区役所子育て支援室などとの連携を密にし、児童生徒が落ち着いて学習に取り組むことができる環境を整備 ・専門家からの助言をもとに適切な支援を実施・指導助言を通した生活指導体制の確立・強化	・学年の集団育成部を中心にして不登校生徒の対応を週に1回以上行う。 ・専門家、関係諸機関と連携しながら、不登校生徒の減少をめざす。						
集育	3	防災・減災教育の推進 ・「防災・減災教育カリキュラム」の作成とその実践 ・区や地域等と連携した防災減災教育と活動の展開	・「防災・減災教育カリキュラム」を作成し、区や地域や小学校などと連携した活動を行う。						

大阪市立柴島中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (様式2 目標別シート)									
評価基準 A：目標を上回って進捗している B：目標どおりに進捗している C：取り組んだが目標通りに進捗できなかった D：ほとんど取り組めなかった									
3つの「最重要目標」と目標達成に向けた施策									
目標1 安全・安心な教育の推進									
【施策② 豊かな心の育成】									
			2 学期				3 学期		
担当	取組内容		指標	達成状況 A～D	年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	今後への改善点	達成状況 A～D	年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	次年度への改善点
道徳	1	道徳教育の推進 ・教科書を中心とした考え議論する道徳教育を実践 ・家庭や地域などと連携したボランティア活動や福祉体験の実施、生徒の実情に応じた出前授業プログラムの実施	・年間の授業を通して、最終アンケートの項目「自分なりに深めることが出来た」の数値を50%以上となるようにする。 ・福祉体験学習を年に1回以上行う。						
キャリア	2	キャリア教育の充実 ・職場体験学習・職業講話や職場見学・産学連携	・職場体験学習や職場訪問学習を通じて、働くことの意義や大変さを学ぶ。						
人担	3	人権を尊重する教育の推進	・人権教育・啓発推進計画に基づき、計画的、系統的な人権教育を実践し、取り組みの進捗を評価する。						
特支	4	インクルーシブ教育システムの充実と推進 ・特別支援教育サポーター、インクルーシブ教育推進スタッフの活用 ・巡回相談の活用による、実施学校園における支援体制の構築と強化 ・教職員、児童生徒、保護者等に対し、発達障がいを含む障がいに関する基礎的な知識及び理解の推進	・合理的配慮の観点をふまえた「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」を作成し、年に1回以上見直しを行う。 ・巡回相談の活用やケース会議の実施を通して、校内支援体制を整備、充実させる。						
音楽	5	音楽・吹奏楽、芸術全般に親しむ機会の創出	・年に1度以上、音楽や古典芸能などの芸術に親しむ機会を設ける。						
総務	6	校内美化と健康管理の推進	・委員会活動を中心に、健康管理を行う。また、日々の清掃活動を通して学習環境の整備を行う。						

大阪市立柴島中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (様式2 目標別シート)									
評価基準 A：目標を上回って進捗している B：目標どおりに進捗している C：取り組んだが目標通りに進捗できなかった D：ほとんど取り組めなかった									
3つの「最重要目標」と目標達成に向けた施策									
目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上									
【施策④ 誰一人取り残さない学力の向上】									
			2 学期				3 学期		
担 当	取組内容		指標	達成 状況 A～D	年度目標の達成状 況や取組の進捗状 況の結果と分析	今後への改善点	達成 状況 A～D	年度目標の達成状 況や取組の進捗状 況の結果と分析	次年度への改善点
教 務	1	学力の向上① ・全国学力・学習状況調 査の結果分析から見えて きた本校の課題の一つで ある「学習意欲の向上」 を十分図れる授業の実践	・校内調査の「授 業はわかりやすく 楽しい」に対する 肯定的回答のポイ ントを向上させ る。 (R6 91.4%)						
教 務	2	学力の向上② ・言語活動の充実をより 一層進め、チャレンジ テストなどへの記述式問題 などへの意欲の向上	・チャレンジテ スト設問別解答デー タの記述式問題を 府平均と比較す る。 (R6 2年 1.28 1年 1.08)						
教 務	3	学力の向上③ ・習熟度別少人数授業の 実施	・習熟度別少人数 授業に関する生徒 アンケートで「授 業がわかる」とい う肯定的回答の割 合を50%以上とす る。						
研 修 主 担	4	「主体的・対話的で深い 学び」の推進 ・主体的・対話的で深い 学びの推進に係る研修 会・研究協議会への参加 推進 ・主体的・対話的で深い 学びの推進に向けた校内 研修の充実 ・個に応じた指導の充実 のための学習教材デー タ配信の有効活用	・主体的・対話的 で深い学びの推進 を図る研修に参加 する。 ・学習教材デー タを活用して、個に 応じた指導をす る。						

大阪市立柴島中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 （ 様式2 目標別シート ）									
評価基準 A：目標を上回って進捗している B：目標どおりに進捗している C：取り組んだが目標通りに進捗できなかった D：ほとんど取り組めなかった									
3つの「最重要目標」と目標達成に向けた施策									
目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上									
【施策④ 誰一人取り残さない学力の向上】									
			2 学期				3 学期		
担当	取組内容		指標	達成状況 A～D	年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	今後への改善点	達成状況 A～D	年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	次年度への改善点
英語	1	英語教育の強化 ・小中連携して効果的な英語教育の推進 ・研究討議を行うシステムの構築・効果的な校内研修の実践	・英語力調査で大阪市の平均点を上回る。 ・CEFR A1レベル（英検3級）相当以上の英語力を有する中学3年生の割合（4技能）を昨年度同等まで引き上げる。						
技術	2	プログラミング教育の推進 ・プログラミング的思考の育成に向けた授業づくり	・アルゴリズムなどプログラミングに必要な思考力の育成を目標に、3年生においてプログラミング教材を活用した授業を8時間以上行う。						
外担	3	多文化共生教育の推進 ・授業等における日本の文化や異文化についての体験的な学習の推進	・授業等で、日本の文化や異文化、日本における外国人の方との共生について考える機会を設け、理解する。						

大阪市立柴島中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (様式2 目標別シート)									
評価基準 A：目標を上回って進捗している B：目標どおりに進捗している C：取り組んだが目標通りに進捗できなかった D：ほとんど取り組めなかった									
3つの「最重要目標」と目標達成に向けた施策									
目標2 未来を切り拓くための学力・体力の向上									
【施策⑤ 健やかな体の育成】									
			2学期			3学期			
担当	取組内容		指標	達成状況 A～D	年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	今後への改善点	達成状況 A～D	年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	次年度への改善点
保体	1	子どもの体力・運動能力向上のための取組の充実 ・区や地域・家庭との連携により、子どもが運動やスポーツに親しみ、楽しむ機会の確保	・校内アンケートにおいて、「体育の授業以外で積極的に運動を行い、運動の楽しさや喜びを味わうことができたか」という質問に対し、肯定的回答を80%以上にする。						
	2	健康に関する現代的課題への対応	・学校アンケートで「朝食は毎日食べている」という質問に対する肯定的回答の割合を前年度(90.0%)と同じ、または前年度より増加させる。						
給食	3	食育の推進 ・「食に関する指導の全体計画」ならびに「食に関する指導の年間指導計画」をもとに実践	・月1回、給食や食に関する通信を発行する。						
給食	4	中学校給食の充実に向けた総合的な取組	・校内放送を利用し、週1回給食の献立や食材について紹介する。						
性教育推進委	5	子どもの心身の発達に即した性教育の推進	・各学年とも、それぞれの指導計画にそって4時間程度実施する。						

大阪市立柴島中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 （ 様式2 目標別シート ）									
評価基準 A：目標を上回って進捗している B：目標どおりに進捗している C：取り組んだが目標通りに進捗できなかった D：ほとんど取り組めなかった									
3つの「最重要目標」と目標達成に向けた施策									
目標3 学びを支える教育環境の充実									
【施策⑥ 教育D X（デジタルトランスフォーメーション）の推進】									
			2 学期			3 学期			
担当	取組内容		指標	達成状況 A～D	年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	今後への改善点	達成状況 A～D	年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	次年度への改善点
C I O	1	I C Tを活用した教育の推進 ・全小中学校に整備された1人1台端末等のI C T機器を活用した授業の実施	・学習活動の場面においてI C T機器を活用することができる状況を作る。 ・学期末のアンケートにおいて「学校は、積極的にI C Tを取り入れている。」の肯定的意見の割合を85%以上とする。						
教務	2	シンクタンク機能の充実 ・「waku×2.com-bee（大阪市の授業のスタンダード）」を活用した教員の指導力向上の取組の実施	・waku×2.com-bee（大阪市の授業のスタンダード）（東書ライブラリーを含む）を活用した教員の割合を昨年度よりも1ポイント超える。						

大阪市立柴島中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (様式2 目標別シート)									
評価基準 A：目標を上回って進捗している B：目標どおりに進捗している C：取り組んだが目標通りに進捗できなかった D：ほとんど取り組めなかった									
3つの「最重要目標」と目標達成に向けた施策									
目標3 学びを支える教育環境の充実									
【施策⑦ 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】									
			2 学期			3 学期			
担当	取組内容		指標	達成状況 A～D	年度目標の達成状況 や取組の進捗状況の 結果と分析	今後への改善点	達成状況 A～D	年度目標の達成状況 や取組の進捗状況の 結果と分析	次年度への改善点
研修主担	1	若手教員の指導力向上と 校内研修の支援	・メンター研修を 年3回以上実施する。						
C I O	2	校務負担を軽減するための 環境整備 ・校務支援 I C T の機能 の十分な活用による学校 教育の質の向上と学校経 営の効率化 ・学校ホームページや保 護者メールで保護者、地 域へ情報発信	・授業・校務において必要な機器等を計画的に配備できるように準備する。 ・学校のWebページにおいては、日記以外においても部活動など更新を行う。						
小中連携	3	小中一貫教育の充実	・小中連携の授業や研修などを年1回以上行う。						
管理職	4	働き方改革の推進	第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を40%以上にする。(R6 35.0%)						

大阪市立柴島中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 （ 様式2 目標別シート ）									
評価基準 A：目標を上回って進捗している B：目標どおりに進捗している C：取り組んだが目標通りに進捗できなかった D：ほとんど取り組めなかった									
3つの「最重要目標」と目標達成に向けた施策									
目標3 学びを支える教育環境の充実									
【施策⑧ 生涯学習の支援】									
			2学期			3学期			
担当	取組内容		指標	達成状況 A～D	年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	今後への改善点	達成状況 A～D	年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	次年度への改善点
図書	1	学校図書館の活性化 ・知的好奇心を高める環境づくりをすすめ、授業での活用や補充学習での使用を促進する。	・図書館の来室者数や貸出図書数を昨年度を上回わる。						

大阪市立柴島中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (様式2 目標別シート)									
評価基準 A：目標を上回って進捗している B：目標どおりに進捗している C：取り組んだが目標通りに進捗できなかった D：ほとんど取り組めなかった									
3つの「最重要目標」と目標達成に向けた施策									
目標3 学びを支える教育環境の充実									
【施策⑨ 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】									
			2 学期			3 学期			
担当	取組内容		指標	達成 状況 A～D	年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	今後への改善点	達成 状況 A～D	年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	次年度への改善点
社会	1	大阪の歴史・現状・文化についての学習 ・学校行事や「総合的な学習の時間」における大阪の文化や伝統についての体験的な学習の推進	・大阪・関西万博の見学、大阪体験などの行事や地歴授業を通して、地政学を交えて歴史や文化の視点を養う。						
集育	2	登下校時の子どもの安全確保	・学期に1回、全校集会にて不審者情報や登下校の注意喚起を行う。						
キャリア	3	産業界との連携	・校区内外の企業や公的機関等と連携し、職場訪問ならびに職業体験を実施する。						

研修 主担	4	地域・区域における生涯学習推進と学校園とのネットワーク ・はぐくみネット、学校元気アップ地域本部事業ならびに生涯学習ルーム等との連携	・テスト前の勉強会（柴スタ）を地域と連携して行い、参加する生徒数を昨年度以上とする。					
----------	---	--	--	--	--	--	--	--